

15:20-16:50

症例検討 4

司会：田中 容子（府中刑務所）

スーパーバイザー：笠原 麻里（医療法人財団青渓会 駒木野病院）

C4-1 性被害およびいじめを背景とし、解離性同一症を伴う複雑性心的外傷後ストレス障害と診断された  
13歳女性

島田 園子<sup>1</sup>、堀内 愛佳<sup>2</sup>、水野 有香<sup>1</sup>、渡真利 真治<sup>1</sup>、友田 明美<sup>2</sup>、小坂 浩隆<sup>1</sup>

1. 福井大学医学部附属病院精神医学、2. 福井大学医学部附属病院子どもこころ診療部

18:30

懇親会

3日目 11月 15日 (土) A会場 AOSSA 8F 福井県県民ホール

9:00-10:30

シンポジウム 20

児童青年期におけるコンサルテーション・リエゾン精神医学

司会：高橋 秀俊（高知大学 医学部・寄附講座 児童青年期精神医学 特任教授）

司会：中土井 芳弘（独立行政法人国立病院機構 四国こどもとおとなの医療センター児童精神科）

S20-1 子どものコンサルテーション・リエゾン精神医学の特徴

庄 紀子（神奈川県立こども医療センター 児童思春期精神科 部長）

S20-2 児童青年期の摂食症診療における多施設連携

鈴木 太（上林記念病院 こども発達センターあおむし）

S20-3 児童青年期における心臓移植・心不全領域のコンサルテーション・リエゾン精神医学

—子どものサイコカルディオロジー

疋地 道代（国立循環器病研究センター 精神神経科）

S20-4 小児腎不全・腎移植における精神科医の役割

押淵 英弘（東京女子医科大学 医学部・精神医学講座 准教授）

S20-5 災害時における子どものリエゾン診療

本田 教一（公益財団法人 舞子浜病院 精神科 病院長）

10:40-12:10

シンポジウム 25

性加害少年の実態と治療について

司会：定本 ゆきこ（京都少年鑑別所 医務課 医務課長）

司会：上野 千穂（京都市児童福祉センター診療所 診療療育課 診療所長）

S25-1 児童相談所でできる性加害少年へのサポートとは

上野 千穂（京都市児童福祉センター診療所 診療療育課 診療所長）

S25-2 少年鑑別所で見る性加害少年の現状と治療への課題

定本 ゆきこ（京都少年鑑別所 医務課 医務課長）

S25-3 子どもと性加害—包括的地域トリートメントの試み

齊藤 章佳（西川口榎本クリニック 副院長）

12:20-13:20

共催セミナー 4 (武田薬品工業株式会社)

ADHD 治療における薬物療法～ADHD 女子例も含めて～

司会：小坂 浩隆（福井大学医学部 精神医学）

演者：堀内 史枝（愛媛大学大学院 医学系研究科 児童精神医学講座）

13:40-14:40

特別講演 3

こどもの自殺対策の現況について

司会：岡田 俊（奈良県立医科大学 精神医学講座）

司会：三上 克央（東海大学医学部 総合診療学系精神科学）

演者：小野 雄大（こども家庭庁 こども家庭庁支援局総務課）

15:10-15:40

閉会式

3日目 11月 15日 (土) B会場 AOSSA 8F リハーサル室

9:00-10:00

一般口演 25

摂食症 3

司会：生地 新（まめの木クリニック）

O25-1 思春期の摂食障害患者が治療に向き合えるまでの体験

○中島 道子<sup>1</sup>、川端 智子<sup>1</sup>、古株 ひろみ<sup>1</sup>、尾関 祐二<sup>2</sup>、増田 史<sup>2</sup>

1. 滋賀県立大学人間看護学研究院、2. 滋賀医科大学 精神医学講座

O25-2 4症例の入院治療からうかがえる回避・制限性食物摂取症（ARFID）の病態の複雑さ

○原田 健一郎、光井 瞳、藤井 優子、佐藤 裕子、樋口 文宏、中川 伸

山口大学医学部附属病院 精神科神経科

O25-3 長浜赤十字病院における小児科病棟と精神科病棟での摂食障害治療について

○池田 仁、沖野 剛志

長浜赤十字病院

O25-4 児童思春期摂食症診療の年齢層による比較検討

○磯部 昌憲、米田 拓矢、栗添 恵理、山田 真穂、柴田 直人、辻元 健太郎、上月 遥  
京都大学医学部附属病院

10:10-11:10

一般口演 28

摂食症 4

司会：杉坂 夏子（福井厚生病院 ストレスケアセンター）

O28-1 インスリンオミッショントリートメントを呈した1型糖尿病併存の神経性過食症の一例

○中村 佳夏<sup>1</sup>、和久田 智靖<sup>1</sup>、竹林 淳和<sup>1</sup>、高貝 就<sup>2</sup>

1. 浜松医科大学医学部附属病院精神科神経科、2. 浜松医科大学児童青年期精神医学講座

O28-2 学童期に初診した「食べた後嫌悪するべき結果が生じることへの不安」を呈する回避・制限性食物

摂取症の外来3症例における治療の個別性に関する検討

○樋口 文宏、原田 健一郎、光井 瞳、中川 伸

山口大学医学部附属病院 精神科神経科

O28-3 広汎性拒絶症候群の治療経過中に尿閉を伴うDysfunctional Voidingを合併した11歳女児

○小尾 誠治、稻川 優多、柳橋 達彦

自治医科大学附属病院

O28-4 自閉スペクトラム症、1型糖尿病を合併した摂食障害症例を通じて

○中谷 圭吾<sup>1・2</sup>、佐々木 祥乃<sup>2</sup>

1. 田宮病院、2. 東京科学大学病院

11:20-12:20

一般口演 31

青年期

司会：金井 講治（三重大学 保健管理センター）

O31-1 発達特性の違いが若年成人の問題のあるインターネット使用に及ぼす影響：注意欠如多動症・自閉スペクトラム症の観点からの検討

○吉川 麟作、山田 晶子、義村 さや香

京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻

O31-2 自閉スペクトラム症の若者が直面するマイノリティ・ストレス：能力主義的マイクロアグレッシヨン経験と社会的カモフラージュにおける外的受容感と孤独感の連鎖媒介の役割

○管 思清、奈村 玲里、大島 郁葉

千葉大学子どものこころ発達教育研究センター

O31-3 青年期の自殺関連行動における構造的関連の可視化：ASD・ADHD 特性を中心としたネットワーク分析

○足立 匠基<sup>1·5·6</sup>、高橋 芳雄<sup>3·5·6</sup>、森 裕幸<sup>4·6</sup>、村上 智生<sup>1</sup>、春日 佑都<sup>7</sup>、打和 望実<sup>2</sup>、蒲 みのり<sup>2</sup>、奥田 奈菜<sup>2</sup>、中村 和彦<sup>5</sup>

1. 明治学院大学心理学部心理学科、2. 明治学院大学大学院心理学研究科、  
3. 東北大学スマート・エイジング学際重点研究センター、4. 埼玉学園大学人間学部心理学科、  
5. 弘前大学大学院医学研究科神経精神医学講座、6. 公益社団法人子どもの発達科学研究所、  
7. 早稲田大学大学院人間科学研究科

O31-4 ポストパンデミックにおける若者の身体・心理的健康の変容：地方大学新入生の検討

○岡崎 玲子<sup>1</sup>、永田 利彦<sup>2</sup>、山下 達久<sup>3</sup>、小坂 浩隆<sup>4</sup>

1. 福井大学保健管理センター、2. なんば・ながたメンタルクリニック、  
3. からすま五条・やましたクリニック、4. 福井大学医学部精神医学

13:30-15:00

薬事委員会セミナー

デジタルアプリをいかに児童青年期の精神科臨床に用いるのか？

司会：太田 豊作（奈良県立医科大学 人言発達学）

司会：辻井 農亜（富山大学附属病院 こどものこころと発達診療学講座）

CS8-1 今どきの子どもとアプリとの関わり

宇佐美 政英（国立国際医療研究センター 国府台病院児童精神科）

CS8-2 注意欠如多動症に対するデジタルセラピューティクスの臨床的有用性と課題

岡崎 康輔（一般財団法人信貴山病院 ハートランドしきさん）

CS8-3 子どもの眠りをよくするためにデジタルデバイスは有用か

堀内 史枝（愛媛大学大学院医学系研究科 児童精神医学講座）

CS8-4 うつ病に対するデジタル治療の現状と児童思春期への応用に向けた課題

木原 弘晶（金沢医科大学病院 精神神経科）

CS8-5 精神科医が知っておくべき医療用ソフトウェアの承認の必要事項と精神科医療への実装可能性

藤田 純一（横浜市立大学附属病院 児童精神科）

3日目 11月 15日 (土) C会場 AOSSA 7F 706・707

9:00-10:00

一般口演 26

トラウマ 1

司会：森本 武志（福井大学子どものこころの発達研究センター）

O26-1 トラウマ関連障害に対するトラウマフォーカスト認知行動療法の自閉スペクトラム症の合併例と非合併例の比較検討

○吉岡 靖史、山家 健仁、内出 希、松尾 菜津美、石山 雄大、佐々木 夢佳、安藤 佑祥、八木 淳子  
岩手医科大学神経精神科学講座

O26-2 群馬病院におけるメンタライジングな治療と支援

～メンタライゼーションに基づく治療 (Mentalization-Based Treatment)、子どもと親への支援、地域連携～  
○黒江 美穂子、渡部 京太  
群馬病院

O26-3 子どものウソ（ファンタジー）にどう対応すべきかの考察

～児童成人混合病棟でのグループ間の対立、一児の偽りが同時多発的な自殺企図・解離・多重人格の  
顕在化など多彩な変化をもたらしたケース～  
○西原 浩司、辻士名 優美子  
天久台病院

O26-4 境界性パーソナリティ障害と複雑性心的外傷後ストレス障害 その相違と相似

吉村 淳  
美喜和会 オレンジホスピタル

10:10-11:10

一般口演 29

トラウマ 2

司会：亀岡 智美（兵庫県こころのケアセンター）

O29-1 解離性幻覚を呈した神経発達症の児に対するトラウマ治療併用による支援の一例

○倉田 佐和、杉山 登志郎  
福井大学子どものこころの発達研究センター

O29-2 スミス・マギニス症候群の衝動性へのチャレンジ～男児一例を通してデイケア、地域支援を試みて～

○西本 佳世子<sup>1</sup>、西川 季保<sup>1</sup>、金子 和美<sup>1</sup>、田崎 みどり<sup>1·2</sup>  
1. 医療法人鳳紀会 可知病院、2. 子どものこころとからだのクリニック CAC かながわ

O29-3 幼児期の虐待環境で形成された神経諸症状からの社会復帰

○上野 大照<sup>1</sup>、作田 泰章<sup>1</sup>、堀上 千里<sup>2</sup>  
1. さくメンタルクリニック、2. OhanaSun 訪問看護ステーション

O29-4 親子複合型認知行動療法の要素を用いた面接で、両親の養育態度と児の易怒性が改善した一例

○藤村 奈未、櫻井 飛鳥、藤田 梓、山村 淳一  
独立行政法人国立病院機構天童病院子どものこころのケアセンター

O29-5 幼児退行と性別異和を合併した反応性愛着障害の一例

○梅谷 徳彦、長谷部 真歩  
山梨県立北病院

11:20-12:20

一般口演 32

地域連携など 1

司会：高橋 秀俊（高知大学 医学部寄附講座 児童青年期精神医学）

O32-1 児童精神科診療所における他機関との連携に関する実態調査～連携回数に影響を与える要因の検討

○牛島 洋景<sup>1</sup>、川添 万葉<sup>1</sup>、田岡 由紀子<sup>1・4</sup>、忍足 美良乃<sup>2</sup>、渡邊 未来<sup>2</sup>、砂川 ひかる<sup>1・3</sup>、篠原 玲奈<sup>1</sup>、二宮 宗三<sup>1・2</sup>

1. うじまこころの診療所、2. いちかわこころの相談所むすび葉、  
3. 国立病院機構下志津病院、4. 船橋市総合教育センター

O32-2 児童精神科と岐阜市子ども・若者総合支援センターとの連携について

○柳澤 尚実<sup>1</sup>、前田 重一<sup>2</sup>、栗林 英彦<sup>1</sup>、高岡 健<sup>1</sup>

1. 岐阜県立希望が丘こども医療福祉センター、2. 岐阜病院

O32-3 児童精神科診療所における地域連携の実際

～逆境体験から問題行動を起こす児童を地域で支えるために～

○川添 万葉<sup>1</sup>、田岡 由紀子<sup>1・4</sup>、二宮 宗三<sup>1・2</sup>、忍足 美良乃<sup>2</sup>、渡邊 未来<sup>2</sup>、砂川 ひかる<sup>1・3</sup>、篠原 玲奈<sup>1</sup>、牛島 洋景<sup>1</sup>

1. うじまこころの診療所、2. いちかわこころの相談所むすび葉、  
3. 国立病院機構下志津病院、4. 船橋市総合教育センター

O32-4 東日本大震災後の発達支援におけるレジリエンスの生成

～複線径路等至性アプローチによる事例分析～

○鈴木 美枝子

東日本大震災・原子力災害伝承館

O32-5 児童思春期病棟における観察室の持つ意味～良性退行をもたらすために～

○山下 由美、萩尾 聖彦、飯星 貴宏、川野 豊、堀川 公平

のぞえ総合心療病院

13:30-15:00

症例検討 5

司会：水野 賀史（福井大学 子どものこころの発達研究センター）

スーパーバイザー：大島 郁葉（千葉大学 子どものこころの発達教育研究センター）

C5-1 社会的カモフラージュが破綻し自己表出が困難となった女性に対する入院環境での支援

黒田 優希<sup>1</sup>、眞田 康雄<sup>1</sup>、間所 重樹<sup>1</sup>

こころの森病院

3日目 11月 15日 (土) D会場 AOSSA 6F 福井市地域交流プラザ 研修室 601

9:00～10:30

国際委員会セミナー

デジタル社会での子どものメンタルヘルスへの影響について

司会：齊藤 卓弥（北海道大学病院 子どものこころと発達センター）

司会：高橋 長秀（国立精神神経医療研究センター 精神保健研究所 知的・発達障害研究部）

CS6-1 Long-term Outcomes and Implementation of Digital Child Mental Health Interventions

Andre Sourander (Professor and chief physician, Department of Child Psychiatry, Director of Child Psychiatry Research Center, INVEST Flagship, Turku University and Turku University Hospital, Finland)

CS6-2 Internet Addiction Related Conditions in Taiwanese Youth : Prevalence, Correlates, Comorbidities and Intervention

Susan Shur-Fen Gau (Department of Psychiatry, National Taiwan University Hospital and College of Medicine, Taipei, Taiwan.)

CS6-3 How Adolescents in Japan Create Places of Belonging through SNS and Online Games

関 正樹（大渕病院）

閉会挨拶：金生 由紀子

10:40-12:10

シンポジウム 23

子どもたちの「好き」をみつめる：音楽、アニメ、ゲーム、ネットの世界

司会：福元 進太郎（福井大学 医学部 精神医学 助教）

司会：東 琢磨（福井県立病院 こころの医療センター）

S23-1 「好き」がつなぐ大人の世界と子どもの世界

関 正樹（大渕病院 児童精神医療センター）

S23-2 「好き」だと思えることを、「好き」でい続けられるためのまなざしについて

星野 俊弥（北里大学 医学部）

S23-3 「アニメ療法」の誕生：好きなものが“生きる力”になるとき

パンター・フランチェスコ（慶應義塾大学病院 精神科）

S23-4 「好きを語る」心理臨床 思春期心性との関係から

岩宮恵子（島根大学こころとそだちの相談センター）

13:30-14:20

教育講演 9

WISC-V 知能検査の正しい理解

司会：藤岡 徹（福井大学 学術研究院教育・人文社会系部門）

演者：大六 一志（公認心理師）

**3日目 11月15日(土) E会場 AOSSA 6F 福井市地域交流プラザ レクリエーションルーム**

9:00-10:30

**シンポジウム 22**

**児童青年精神医学キャリア・カフェ**

**－寄附講座としての児童精神医学の研究や臨床・教育の在り方を検討する－**

司会：小坂 浩隆（福井大学医学部精神医学、福井大学子どものこころの発達研究センター）

司会：辻井 農亜（富山大学附属病院 こどものこころと発達診療学講座 客員教授）

**S22-1 北海道大学病院子どものこころと発達センターにおける児童精神科研修の取り組み**

大島 由季代（北海道大学病院子どものこころと発達センター）

**S22-2 長野県および松本市の委託による信州大学子どものこころの発達医学教室における児童青年精神医学の研修**

本田 秀夫（信州大学 医学部子どものこころの発達医学教室 教授）

**S22-3 相模原市寄附講座「地域児童精神科医療学」について**

神谷 俊介（北里大学医学部精神科学

相模原市寄附講座「地域児童精神科医療学」

**S22-4 浜松医大児童青年期精神医学講座の活動について**

高貝 就（浜松医科大学 児童青年精神医学講座 特任教授）

**S22-5 名古屋市立大学病院こころの発達診療研究センターの取り組み**

**－病院内の診療にとどまらない神経発達症医療の実践－**

山田 敦朗（名古屋市立大学大学院医学研究科 こころの発達医学寄附講座 教授）

**S22-6 富山県における児童精神科医としてのスキルアップとキャリア形成**

辻井 農亜（富山大学附属病院 こどものこころと発達診療学講座 客員教授）

**S22-7 児童青年精神医学キャリア・カフェ**

**－寄附講座としての児童精神医学の研究や臨床・教育の在り方を検討する－**

廣澤 徹（金沢大学 児童青年期精神医学 特任教授）

**S22-8 福井大学で児童精神医学の臨床と研究をを実践しましょう**

小坂 浩隆（福井大学医学部精神医学、福井大学子どものこころの発達研究センター）

**S22-9 高知県での児童精神医学の学びと実践：高知大学医学部寄附講座児童青年期精神医学における取組について（第2報）**

小松 静香、高橋 秀俊（高知大学医学部 寄附講座 児童青年期精神医学 特任助教）

**S22-10 愛媛大学児童精神医学講座の設立と今後の展望**

井上 彩織（愛媛大学大学院医学系研究科 精神神経科学講座）

**S22-11 長崎大学医学部精神神経科学教室における児童精神科医の育成：最新の科学技術導入の挑戦**

清水 日智（長崎大学 医学部精神神経科学教室 助教）

10:40-12:10

**教育に関する委員会セミナー**

**教育現場で高まるメタルケニアーズと学校教員支援－ポストコロナの不登校とその対応－**

司会：小野 和哉（聖マリアンナ医科大学 神経精神科学教室）

司会：吉川 徹（愛知県西三河福祉相談センター）

**CS7-1 学校における働き方改革について**

遠藤 雅典（文部科学省初等中等教育局財務課）

**CS7-2 平成の終わりから令和にかけ増加し続ける小中の不登校の理解と対応**

神村 栄一（新潟大学）

**CS7-3 放課後等デイサービス・訪問看護による不登校児童生徒支援～可能性と課題～**

清田 晃生（社会福祉法人別府発達医療センター大分療育センター）

**CS7-4 メタバース支援**

水瀬 ゆず

13:30-15:00

**福祉に関する委員会セミナー**

**子どもの声を聴く**

司会：陶山 寧子（横浜市中央児童相談所）

司会：早川 洋（こどもの心のケアハウス 嵐山学園（児童心理治療施設））

**CS9-1 子どもの同意を大切にする親子交流とは－共同親権施行に向けて－**

上野 千穂（京都市児童福祉センター 診療所）

**CS9-2 かかりつけ小児科医として「子どもの声を聴く」ということ－なぜ私は一生懸命「聴く」のか**

坂西 信平（坂西医院 内科・小児科）

**CS9-3 福祉の委員会セミナー 社会的養護 当事者の声を聴く**

なつみかん

指定討論：陶山 寧子（横浜市中央児童相談所）

**3日目 11月15日(土) F会場 AOSSA 6F 福井市地域交流プラザ 研修室 607**

10:10-11:10

**ポスター 20**

**地域連携など 2**

司会：相原 加苗（東大阪市立障害児者支援センター内診療所）

**P20-1 日本における脆弱X症候群の行動特性アセスメント実施体制の構築**

○山本 彩<sup>1</sup>

1. 札幌学院大学、2. 鳥取大学研究推進機構研究基盤センター、
3. 岡山大学学術研究院医歯薬学域臨床遺伝子医療学分野、4. 静岡県立こども病院遺伝染色体科、
5. 鳥取大学医学部医学科、6. 加古川中央市民病院、7. 緑ヶ丘療育園

**P20-2 児童思春期に特化した訪問看護ステーションの5年間の看護実践報告**

○堀上 千里<sup>1</sup>、作田 泰章<sup>2</sup>、上野 大照<sup>2</sup>、藤好 昭一郎<sup>1</sup>、金本 辰洋<sup>1</sup>

1. OhanaSunh 訪問看護ステーション、2. さくメンタルクリニック

**P20-3 「支援者への支援」という視点－遠隔連携で拓く思春期・青年期の地域精神医療**

○松井 友紀子、松井 裕介

まついこころのクリニック

**P20-4 児童・思春期における精神保健福祉士の役割と課題についての考察**

～主病名、年齢区分、相談種別に基づく分析と検討～

○澤井 創、吉田 茉美、西村 美穂、秦 香苗、河野 いずみ、松浦 広樹、岡崎 康輔、根來 秀樹  
一般財団法人 信貴山病院 ハートランドしげさん

**P20-5 当院と児童相談所一時保護所の連携について**

○栗林 英彦<sup>1,2</sup>、柳澤 尚実<sup>1</sup>、高岡 健<sup>1</sup>

1. 岐阜県立希望が丘こども医療福祉センター 発達精神医学研究所、

2. 岐阜県中央子ども相談センター

10:10-11:40

ポスター 23

ASD 8

司会：大高 一則（医療法人 大高クリニック）

P23-1 自閉スペクトラム症成人用就労準備性チェックシートの信頼性・妥当性の検証

○西村 大樹<sup>1・2・3</sup>、内田 晃裕<sup>1</sup>、小西 菜緒<sup>1</sup>、南場 美沙都<sup>1</sup>、藤田 純嗣郎<sup>1</sup>

1. 地方独立行政法人 岡山県精神科医療センター、
2. 岡山大学 社会文化科学研究科 客員研究員、3. 岡山大学 教育推進機構

P23-2 自閉スペクトラム症当事者ときょうだいの感覚特性の相関について

○樋口 詩乃<sup>1</sup>、川中 奈都実<sup>1</sup>、岩永 龍一郎<sup>2</sup>、今村 明<sup>2</sup>

1. 長崎大学医歯薬学総合研究科、2. 長崎大学生命医科学域保健学系

P23-3 自閉スペクトラム症者の思春期における社会的カモフラージュ：性差、学校段階、診断時期、自閉

特性の影響の多角的な検討

○奈村 玲里<sup>1</sup>、管 思清<sup>2</sup>、川口 恭央<sup>2</sup>、大島 郁葉<sup>1・2</sup>

1. 大阪大学大学院連合小児発達学研究科千葉校、

2. 千葉大学子どものこころの発達教育研究センター

P23-4 成人発達障害とアトピー性皮膚炎の関連について

○大田垣 昂、榎戸 美佐子、藤田 宗久、角谷 陽平、谷口 園子、米本 智美、松田 文恵

谷野 呉山病院

P23-5 自閉スペクトラム症児における皮膚むしり症と感覚処理

○平井 香<sup>1</sup>、宮脇 大<sup>1・3</sup>、角野 信<sup>1</sup>、濱 宏樹<sup>1・3</sup>、西浦 沙耶花<sup>1</sup>、鋤柄 文香<sup>1</sup>、石原 昂季<sup>1</sup>、

柿下 優衣<sup>2</sup>、井上 幸紀<sup>1</sup>

1. 大阪公立大学大学院医学研究科神経精神医学、

2. 大阪公立大学大学院医学研究科発達小児医学、3. 大阪市立総合医療センター児童青年精神科

P23-6 思春期・青年期患者における感覚プロファイルと臨床症状の関係性について－予備的研究－

○狩野 静香<sup>1</sup>、補永 栄子<sup>2</sup>、崎田 純<sup>3</sup>、三好 紀子<sup>4</sup>、松本 恵<sup>5</sup>、金井 講治<sup>6</sup>、池田 学<sup>1</sup>

1. 大阪大学大学院医学系研究科・精神医学教室、2. 大阪大学大学院連合小児発達学研究科、

3. 大阪大学人間科学研究科、4. 清順堂ためなが温泉病院、

5. 大阪大学大学院人間科学研究科、6. 三重大学保健管理センター

11:20-12:20

ポスター 24

虐待・地域連携など

司会：大西 雄一（東海大学医学部精神科学）

P24-1 児童養護施設および児童心理治療施設の被措置児童の学習困難の実態調査

－学習障害の観点を入れて－

○高橋 ふき、越後 順一、志田 沙恵子、宮城 崇史、小川 素子、石坂 好樹  
児童心理治療施設ももの木学園

P24-2 統合型 HTP 法からくみ取る被虐待児の内的世界－2事例の分析を通して－

○牧野 裕也<sup>1</sup>、大高 一則<sup>2</sup>

1. 高知大学学び創造センター、2. 大高クリニック

P24-3 自閉スペクトラム症の児童への虐待に対して介入し、背景にある母の精神疾患の治療にあたること

で家庭再統合することができた一例

○池田 仁、沖野 剛志

長浜赤十字病院

P24-4 地方病院における行動障害を伴う軽度知的障害・発達障害患者への支援：症例報告

浅岡 浩平

杉田玄白記念公立小浜病院

P24-5 子どもの心の傷つき体験と急激な情緒変化・家庭生活の関係について：当院実態調査

○森 昭憲<sup>1</sup>、仲田 真理子<sup>2</sup>、河野 由依<sup>2</sup>、服部 小太朗<sup>2</sup>、瀬戸川 剛<sup>3・4</sup>

1. 富山県リハビリテーション病院・こども支援センター、

2. 筑波大学・行動神経内分泌学研究室、3. 富山大学・医学部、

4. 富山大学・アイドリング脳科学研究センター

**3日目 11月15日(土) G会場 AOSSA 6F 福井市地域交流プラザ 研修室 602**

10:10-11:10

ポスター 21

その他 3

司会：平野 千晶（医療法人成精会 刈谷病院）

**P21-1 児童精神科臨床におけるペアレントトレーニングの治療効果に関する後方視研究**

○高橋 美和<sup>1</sup>、山口 貴史<sup>1・3・4</sup>、木原 望美<sup>1・3・4</sup>、斎藤 真樹子<sup>1・3・4</sup>、酒井 真優<sup>1・4</sup>、藤原 麻里子<sup>1</sup>、  
杉田 理緒<sup>1</sup>、松井 春奈<sup>1</sup>、齊藤 万比古<sup>1・5</sup>、細金 奈奈<sup>2・3</sup>、小平 雅基<sup>1・2・3・4</sup>

1. 愛育産後ケア子育てステーション 子どものこころ相談室、
2. 総合母子保健センター 愛育クリニック小児精神保健科、
3. 愛育研究所 児童福祉・精神保健研究部、4. 総合母子保健センター 愛育クリニック医療福祉室、
5. 愛育研究所

**P21-2 外国につながる発達障害児とその家族への支援に係る情報提供**

～小学生から高校生と家族のためのパンフレット作成について～

○与那城 郁子<sup>1</sup>、高橋 倫<sup>2</sup>、柿元 真知<sup>3</sup>、神谷 真巳<sup>4</sup>、小川 しおり<sup>5</sup>、山脇 かおり<sup>1</sup>  
1. 国立障害者リハビリテーションセンター 企画・情報部 発達障害情報・支援センター、  
2. 社会福祉法人 豊田市福祉事業団、3. 三重県立子ども心身発達医療センター、

4. 社会福祉法人 豊田市福祉事業団 豊田市こども発達センター、
5. 東海国立大学機構 名古屋大学

**P21-3 精神科疾患児から身体的暴力を受けた経験のある看護師が行う 包括的暴力防止プログラムにおける Person-centered 的な介入の実際**

○山崎 あゆみ、松木 喜与、白井 澄

独立行政法人国立病院機構四国こどもとおとなの医療センター

**P21-4 アジアの神経発達症に関するレジストリ研究：薬物療法と心理検査の国際比較**

○坂本 由唯<sup>1</sup>、斎藤 まなぶ<sup>3</sup>、廣澤 徹<sup>5</sup>、水野 賀史<sup>6</sup>、中村 和彦<sup>1</sup>、橋 雅弥<sup>2</sup>

1. 弘前大学大学院医学研究科 神経精神医学講座、
2. 弘前大学大学院保健学研究科 心理支援科学専攻、
3. 金沢大学子どものこころの発達研究センター、4. 大阪大学大学院医学系研究科 小児科学、
5. 大阪大学大学院連合小児発達学研究科、6. 福井大学子どものこころ発達研究センター

**P21-5 ICT 機器を用いた算数障害特性のスクリーニング検査と算数障害の精査の結果の関連性：算数障害特性のある児童 11 名を対象とした検討**

○鈴木 歌音<sup>1</sup>、藤岡 徹<sup>2</sup>

1. 大阪大学大学院連合小児発達学研究科福井校、2. 福井大学学術研究院教育・人文社会系部門、

11:20-12:20

ポスター 25

気分障害

司会：佐々木 剛（千葉大学医学部附属病院 こどものこころ診療部）

**P25-1 当院を受診した 20 歳未満の患者における精神科診断および希死念慮の検討**

○今村 要介<sup>1</sup>、高田 加奈子<sup>1</sup>、松本 美菜子<sup>1</sup>、岩屋 悠生<sup>1・2</sup>、香月 大輔<sup>1</sup>、山根 謙一<sup>1</sup>、山下 洋<sup>1</sup>  
1. 九州大学病院子どものこころの診療部、2. 福岡県立精神医療センター太宰府病院

**P25-2 幻視、幻聴を訴えた自閉スペクトラム症をもつ児童期双極症の一例**

○熊代 奈津子、野村 健介  
島田療育センター

**P25-3 青年の自殺念慮とソーシャル・サポートの互恵性の関連：心理的リスク因子を統制した上でソーシャル・サポートがどのように自殺念慮と関連するか**

○村上 智生<sup>1</sup>、足立 匡基<sup>2</sup>  
1. 明治学院大学心理学部（調査時）、2. 明治学院大学心理学部

**P25-4 遷延性悲嘆症（複雑性悲嘆）にうつ病エピソードを合併した 1 例－青年期女性症例からの考察－**

○御園 覚夫、山崎 史暁、佐々木 剛  
千葉大学医学部附属病院

**3日目 11月15日(土) H会場 AOSSA 6F 福井市地域交流プラザ 研修室 603**

10:10-11:10

ポスター 22

不登校 3

司会：片山 智子（こころとからだクリニック福井）

**P22-1 知的能力の高い子どもの不登校要因の検討**

片桐 正敏  
北海道教育大学旭川校

**P22-2 ミソフォニア（音嫌悪症）およびミソキネシア（動作嫌悪症）有する不登校女児に就学的治療を行ない、復学・進学を果たした女児の一例**

野村 健介<sup>1・2</sup>  
1. 島田療育センター児童精神科、2. 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

**P22-3 児童生徒の生活習慣と登校状況との間の短期縦断的な関連：GIGA スクール端末を用いた不登校の早期徵候把握を目指して**

○鈴木 美樹江<sup>1</sup>、高橋 雄介<sup>2</sup>  
1. 愛知教育大学、2. 京都大学

**P22-4 学校でのネガティブな経験と登校頻度や学校・家庭生活との関連**

○瀬戸川 剛<sup>1・2</sup>、河野 由依<sup>3</sup>、服部 小太朗<sup>3</sup>、仲田 真理子<sup>3</sup>、森 昭憲<sup>4</sup>  
1. 富山大学・医学部、2. 富山大学・アイドリング脳科学研究センター、  
3. 筑波大学・行動神経内分泌学研究室、4. 富山県リハビリテーション病院・こども支援センター

**P22-5 小児期から思春期における登校・生活状況とメディア利用との関連**

○服部 小太朗<sup>1</sup>、河野 由依<sup>1</sup>、仲田 真理子<sup>1</sup>、瀬戸川 剛<sup>2・3</sup>、森 昭憲<sup>4</sup>  
1. 筑波大学・行動神経内分泌学研究室、2. 富山大学・医学部、  
3. 富山大学・アイドリング脳科学研究センター、  
4. 富山県リハビリテーション病院・こども支援センター

11:20-12:20

ポスター 26

#### 心理社会的援助・家族支援 4

司会：山本 朗（東大阪市立障害児者支援センター）

- P26-1 児童・思春期病棟を有する精神科病院が運営する思春期ショートケア「エウレカ」の治療的意義  
～多職種協働を通して患者の精神発達を支える“抱える環境”を作る試み～

○岡田 英哲<sup>2</sup>、大矢 瑞穂<sup>2</sup>、中野 三津子<sup>3</sup>、小田 晓<sup>3</sup>、藤井 寛也<sup>3</sup>、池谷 夏美<sup>2</sup>、今若 景太<sup>2</sup>、牛島 あやの<sup>2</sup>、竹内 俊介<sup>1</sup>

1. 医療法人弘徳会 愛光病院、2. 医療法人弘徳会 愛光病院 地域連携支援局、3. 医療法人弘徳会 愛光病院 診療局

- P26-2 今の社会に生きる若者の「生きづらさ」の実態とその支援に向けて

○大嶽 裕太郎  
龍谷大学大学院文学研究科臨床心理学専攻

- P26-3 初診時における症状に対する思春期患者と親の認識の乖離に関する予備的研究

○崎田 純<sup>1</sup>、補永 栄子<sup>2</sup>、狩野 静香<sup>3</sup>、三好 紀子<sup>4</sup>、松本 恵<sup>5</sup>、金井 講治<sup>6</sup>、池田 学<sup>3</sup>  
1. 大阪大学人間科学研究科、2. 大阪大学大学院連合小児発達学研究科、3. 大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室、4. 清順堂ためなが温泉病院、5. 大阪大学大学院人間科学研究科、6. 三重大学保健管理センター

- P26-4 タイトレーションを用いたトラウマイソルームドケアによる支援の有用性について  
－発達特性・愛着・トラウマの重なりに着目して－

○青木 悠<sup>1</sup>、川端 康雄<sup>1</sup>、高山 真衣<sup>1</sup>、矢藤 来未<sup>1</sup>、百済 さゆり<sup>1</sup>、大西 尚哉<sup>1</sup>、藤本 健士郎<sup>1</sup>、岡山 達志<sup>1,2</sup>、久保 洋一郎<sup>1</sup>、木下 真也<sup>1</sup>、金沢 徹文<sup>1</sup>  
1. 大阪医科大学 神経精神医学教室、2. いわくら病院

- P26-5 Minecraft®を用いた集団作業療法の有効性の評価

○白石 健<sup>1,2</sup>、公家 里依<sup>1,3</sup>、篠山 大明<sup>1,2</sup>、本田 秀夫<sup>1,3</sup>  
1. 信州大学医学部子どものこころの発達医学教室、2. 信州大学医学部精神医学教室、3. 信州大学医学部附属病院子どものこころ診療

#### 3日目 11月15日(土) | 会場 ハピリン 3F ハピリンホール

9:00-10:30

シンポジウム 21

#### 行動化の背景にあるもの

司会：原田 謙（長野県立こころの医療センター駒ヶ根 子どものこころ診療センター センター長）

司会：笠原 麻里（駒木野病院 精神科）

- S21-1 “大切にする”を育む～プライマリーナースの葛藤～

関口 晴紀（駒木野病院 児童精神科病棟 看護師）

- S21-2 愛されたかった患児に振り回され続けた 533 日間～入院が長期化し対応に難渋した症例から～

小川 香織（岩手医科大学附属病院 児童精神科子どものこころ病棟 臨床心理士）

- S21-3 ふたたび、人とつながる～市販薬を乱用していた女子中学生の入院治療～

三ツ橋 じゅん（埼玉県立精神医療センター 療養援助部 副技師長）

10:40-12:10

シンポジウム 24

#### 神経発達症の研究と臨床の架け橋：臨床応用に向けた連合小児発達学研究科の取り組み

司会：松崎 秀夫（福井大学 子どものこころの発達研究センター センター長・教授）

司会：水野 賀史（福井大学 子どものこころの発達研究センター 准教授）

- S24-1 希少疾患の知見から神経発達症の包括的理 解を目指して

木村 亮（大阪大学 大学院連合小児発達学研究科 生命情報学 教授）

- S24-2 「診断横断的」縦断研究を考える

土屋 賢治（浜松医科大学 子どものこころの発達研究センター 特任教授）

- S24-3 児童青年期における脳磁図を用いた脳機能解析の展開：過去研究のレビューと臨床応用への展望

廣澤 徹（金沢大学 神経科精神科）

- S24-4 注意欠如多動症支援における認知行動療法の知見と展望：メタ解析から社会実装に向けて

濱谷 沙世（福井大学 子どものこころの発達研究センター）

12:20-13:20

共催セミナー 5（大塚製薬株式会社）

#### 「自閉」はどこから来て、どこへ向かうのか：自閉スペクトラム症・統合失調症・トラウマ関連症の交錯と境界

司会：金生 由紀子（社会福祉法人全国心身障害児福祉財団 全国療育相談センター）

演者：今村 明（長崎大学 生命医科学域保健学系作業療法学分野）

13:30-15:00

シンポジウム 26

#### 神経発達症の発症と環境要因

司会：高橋 長秀（国立精神神経医療研究センター 精神保健研究所 知的・発達障害研究部 部長）

司会：土屋 賢治（浜松医科大学 子どものこころの発達研究センター 特任教授）

- S26-1 周産期のリスクと神経発達症～疫学的知見から～

土屋 賢治（浜松医科大学 子どものこころの発達研究センター 特任教授）

- S26-2 周産期のリスクが神経発達症に与える影響～動物モデル研究から～

土井 美幸（大阪大学大学院 医学系研究科 神経細胞生物学講座 助教）

- S26-3 甲状腺機能低下を誘導する化学物質の神経発達症リスクをどう評価するのか？

～マウスモデル用いた検証と今後の展望～

中西 剛（岐阜薬科大学 衛生学研究室 教授）

- S26-4 幼児期の生活習慣が神経発達症に与える影響～睡眠・スクリーンタイム・ゲームの影響～

高橋 長秀（国立精神神経医療研究センター 精神保健研究所 知的・発達障害研究部 部長）

**3日目 11月15日(土) J会場 ハピリン 4F リハーサル室**

9:00-10:00

一般口演 27

精神療法・心理療法など1

司会：幸田 有史（京都府立洛南病院）

O27-1 夢を通して困り感を伝える自閉スペクトラム症男子の面接過程

○二宮 宗三<sup>1</sup>、忍足 美良乃<sup>1</sup>、渡邊 未来<sup>1</sup>、川添 万葉<sup>2</sup>、田岡 由紀子<sup>2·4</sup>、篠原 玲奈<sup>2</sup>、砂川 ひかる<sup>2·3</sup>、牛島 洋景<sup>2</sup>

1. いしかわこころの相談所 むすび葉、2. うじまこころの診療所、

3. 国立病院機構下志津病院、4. 船橋市総合教育センター

O27-2 社会的関係の形成の困難から、母親と乳幼児的な関係を続ける14歳女児の一例

○小田 曜<sup>1·5</sup>、伊丹 寛二<sup>1·6</sup>、藤井 寛也<sup>1</sup>、池谷 夏美<sup>2</sup>、今若 景太<sup>3</sup>、岡田 英哲<sup>4</sup>、大矢 瑞穂<sup>4</sup>、竹内 俊介<sup>1</sup>、大西 雄一<sup>5</sup>、山本 賢司<sup>5</sup>、三上 克央<sup>5</sup>

1. 医療法人 弘徳会 愛光病院、2. 医療法人 弘徳会 愛光病院 地域連携支援局 相談科、

3. 医療法人 弘徳会 愛光病院 地域連携支援局 作業療法科、

4. 医療法人 弘徳会 愛光病院 地域連携支援局 心理科、

5. 東海大学医学部医学科総合診療学系精神科学、6. 東海大学医学部付属八王子病院 精神科

O27-3 ひらがな支援研究プロジェクト

～学童初期におけるひらがなの獲得がすべての子どもの学力保障へつながる～

島田 敏行

三重大学教育学部付属学校企画経営室

O27-4 読み書き困難より、行動特性が影響？－適応行動の予測因子を探る－

○葛森 英史、片桐 正敏、萩原 拓

北海道教育大学旭川校

10:10-11:10

一般口演 30

精神療法・心理療法など2

司会：吉剛 亮子（福井大学 子どものこころ診療部）

O30-1 子どもの問題を語る母に対して解決志向アプローチの技法の一つである“例外探しの質問”を用いることで子どもの対人関係トラブルがなくなった1症例

○藤枝 周平、宋 大光

医療法人不動心 宋子どものこころ医院

O30-2 離別体験後に入浴ができないなどの症状が現れ不安症・強迫症が疑われたが、オープンダイアローグに基づく外来診療を通して症状が寛解した2症例

○中村 肇也、山路 由夏、大原 伸騎、永野 志歩

高知県・高知市病院企業団立高知医療センターこころのサポートセンター

O30-3 「思想」を繰り返し語る思春期男子への短期入院を端緒とした心理療法的アプローチ  
－現実を支え、病的体験を制御する－

○根本 泰明<sup>1·2</sup>、塚原 さち子<sup>1·2</sup>、島内 智子<sup>2</sup>、小野 和哉<sup>2</sup>

1. 聖マリアンナ医科大学病院 精神療法ストレスケアセンター、

2. 聖マリアンナ医科大学 神経精神科

O30-4 場面緘默の中学生に対してクリニック及び学校での段階的エクスポートージャーが有効であった3症例  
－保育所等訪問支援を活用して－

○河野 里沙<sup>1</sup>、梶梅 あい子<sup>1·2</sup>

1. あおさきこども心療所、2. 広島大学病院小児科

11:20-12:20

一般口演 33

幼児・健診

司会：津田 明美（育ちのクリニック津田）

O33-1 5歳児個別健診から療育センターに紹介される児の後方視的検討

香取 奈穂

川崎市南部地域療育センター

O33-2 乳幼児健診での指摘内容と知的能力および発達特性の関連性の検討

○福島 茂樹、峯川 章子

1. 大阪市立心身障がい者リハビリテーションセンター

O33-3 3歳児における睡眠障害の有病率の推定及び睡眠問題と発達や行動の関連

～3歳児健診結果からの報告 population-based study～

○斉藤 まなぶ<sup>1</sup>、大里 紗子<sup>1</sup>、坂本 由唯<sup>2</sup>、毛利 育子<sup>3</sup>、原 由紀<sup>4</sup>、金生 由紀子<sup>5</sup>、北洋輔<sup>6</sup>、照井 藍<sup>7</sup>、吉田 和貴<sup>7</sup>、稻垣 真澄<sup>8</sup>

1. 弘前大学大学院保健学研究科心理支援科学領域、2. 弘前大学医学部附属病院神経科精神科、

3. 大阪大学大学院連合小児発達研究科、4. 北里大学医療衛生学部、

5. 東京大学医学部附属病院、6. 慶應義塾大学文学部、

7. 弘前大学大学院医学研究科神経精神医学講座、

8. 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

13:30-14:30

一般口演 34

嗜癖・依存症

司会：館農 勝（特定医療法人さっぽろ悠心のときわ病院）

**O34-1 抜毛症の男児の治療経過に関する考察**

○木戸 瑞江、中村 祐

香川大学医学部附属病院精神神経科

**O34-2 中学生を対象としたゲーム依存度とひきこもり傾向についての調査**

○館農 勝<sup>1·3</sup>、下出 崇輝<sup>2·3</sup>、下村 遼太郎<sup>1</sup>、白石 映里<sup>1</sup>、南波 江太郎<sup>1</sup>、館農 幸恵<sup>1</sup>

1. ときわ病院・ときわこども発達センター、2. しもでメンタルクリニック平岸分院、

3. 札幌医科大学附属病院神経精神科こどもメンタルクリニック

**O34-3 子どものインターネット問題使用と生活習慣との関連：全国縦断研究**

○須山 聰<sup>1</sup>、西木 百合子<sup>2·3</sup>、福屋 吉史<sup>4</sup>、荻野 和雄<sup>5</sup>、山脇 かおり<sup>6</sup>、小川 しおり<sup>7</sup>、

石塚 一枝<sup>8</sup>

1. 北海道大学病院 子どものこころと発達センター、

2. 東京都立小児総合医療センター児童思春期精神科、

3. 東京大学大学院医学系研究科脳神経医学専攻こころの発達医学、

4. 東邦大学医学部精神神経医学講座、5. 福井厚生病院 ストレスケア科、

6. 国立障害者リハビリテーションセンター病院 小児科・児童精神科、

7. 名古屋大学総合保健体育科学センター、

8. 国立成育医療研究センター 女性の健康総合センター 女性のライフコース疫学研究室

**O34-4 思春期の子どもの孤独感がインターネット依存に及ぼす影響の検証**

○福屋 吉史<sup>1</sup>、西木 百合子<sup>2·3</sup>、須山 聰<sup>4</sup>、荻野 和雄<sup>5</sup>、小川 しおり<sup>6</sup>、山脇 かおり<sup>7</sup>、

石塚 一枝<sup>9</sup>

1. 東邦大学医学部精神神経医学講座、2. 東京都立小児総合医療センター児童思春期精神科、

3. 東京大学大学院医学系研究科脳神経医学専攻こころの発達医学、

4. 北海道大学病院 子どものこころと発達センター、5. 福井厚生病院 ストレスケア科、

6. 名古屋大学 総合保健体育科学センター、

7. 国立障害者リハビリテーションセンター病院 小児科・児童精神科、

8. 成育医療研究センター研究所 社会医学研究部、

9. 国立成育医療研究センター 女性の健康総合センター 女性のライフコース疫学研究室

**O34-5 長時間のゲームプレイはゲーム行動症を直接引き起こすのか？：ICD-11基準を用いた縦断研究**

○井出 草平<sup>1·2</sup>、鈴木 太<sup>3·4</sup>、小坂 浩隆<sup>2</sup>

1. 多摩大学情報社会研究所、2. 福井大学医学部精神医学、

3. 上林記念病院 こども発達センターあおむし、

4. 福井大学子どものこころの発達研究センター地域こころの支援部門